

「電子回路基礎ノート」 正誤表

頁	行・図・箇所	誤	正
45	下3行	能動動作	能動
47	下2行	遮断状態	遮断
49	下3行	飽和状態	飽和
52	上5行	に示すように、 i_C は i_B に比例して増えるため、	に示すように、トランジスタは電流源として動作するので v_{CE} に依存せずプロットは水平線になる。また i_C は i_B に比例して増えるため、
58	例題5.1 【解答】	トランジスタが飽和領域にあると仮定する。	トランジスタが能動領域にあると仮定する。
	図5.3	トランジスタが飽和領域であると仮定したときの回路	トランジスタが能動領域にあると仮定したときの回路
67	下3行	飽和領域に保つ必要がある。	能動領域に保つ必要がある。
159	図10.18		
199	演習問題 [12.1] (1)	$\beta = 0.1$	$\beta = -0.1$
	演習問題 [12.2] (1)	$\beta = 0.3$	$\beta = -0.3$
203	演習問題解答 [2.5]	100倍	1000倍
205	演習問題解答 [4.4] (a)	$i_B = 21.5 \text{ mA}$	$i_B = 21.5 \mu\text{A}$

②

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。
 下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。
<http://www.coronasha.co.jp>